



# Web Fairy Paradise

第29号

## 今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第28回WFPフェアリー作品展
- ・ 推理将棋39回出題
- ・ OFM 第165回出題
- ・ ギネスに挑戦！持駒最多のばか詰
- ・

## 結果発表

- ・ 第27回WFPフェアリー作品展
- ・ OFM 第164回出題
- ・ 推理将棋第38回出題
- ・ Fairy of the Forest #25
- ・ 第9回詰四会フェアリー作品展3番

## 読み物

- ・ 妖精賞の系譜（16）
- ・



2010/11

## はじめに



今月の21日に詰備会参加の為、岡山の児島に行ってきた。写真は携帯で撮ったのでややぼけてますが、この写真は駅前で綺麗に整備された山の紅葉も街路樹の紅葉も見事の一言でした。参加者は11名。岡山市よりJRで30分位離れているにも関わらず大阪や町田、長崎よりたくさんの参加者がありました。詰四会は毎回5、6人ですので羨ましいです。ハイ。

メンバーを見ると、私、弘光さん、岩本さん、中村さんと実は妖精賞作家が4名もいるというフェアリストの集まりでもありました。会場でフェアリー詰将棋の話がほとんど無かったのはちと残念でした。二次会の席上で私が40人一局集に応募していないことを槍玉に挙げられていた場面で私が「フェアリーならね」とつぶやいたら中村さんが「ではフェアリー100人1局集を須川さん作ったら・・・」みたいなことを言われました。確か以前そんな話題もあったような気がします。しかし今お名前を見受けられない方も結構いらっしゃいますので実際に書いていただくのは難しそうですね。しかしたとえ作ったとしても買う人いるのかな??? なんとか私の目の黒いうちにはやってみたい仕事ではあります。

## 【 募 集 】

### 作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

### 読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

### 感想

第27号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：[takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

---

### 協力いただいている方々のHPアドレス

\* ご協力感謝します

#### 妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

#### 詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

#### 詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

#### Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

#### K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

#### イラスト・素材提供：幻想素材サイトFirst Moon

<http://www.first-moon.com/>

\* 表紙のイラストを使用させて頂いております。

[ 作品投稿要項 ]

- 1) 作品投稿は随時受け付けています
- 2) ルールは不問です。フェアリー系ルールならばかしこでも可です( 安南詰 etc)
- 3) FM 等で検討済みの場合はその旨を付記して下さい
- 4) FM 等で検討出来ない場合は検討の手伝いをします

[ 解答要項 ]

解答締切：平成22年12月15日

本作品展は、正式発表とし TOP IXの対象となります。また解答のコメントは結果発表にて掲載いたしますのでご了承下さい

作品投稿及び解答は

webfairyparadise\_you@yahoo.co.jp

にお願いします

余詰・近況報告は

<http://circe-pro.cocolog-nifty.com/blog/>

で行っています。確認の上、解答下さい

ルール説明

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方玉を詰ます

【協力白玉詰】

先後協力して最短手数で攻方玉を詰ます

【千日手】

指定手数で 0 手目の局面に戻す

【スタイルメイト】

合法的な着手がない状態にする

【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる

【安北】

味方の駒が縦に並ぶと、下の駒の利きは上の駒の利きになる

【安騎】

騎 (= チェスのナイト) の利きにある駒は、その駒の利きになる。異なる複数の利きがある場合は両者の駒の利きを持つようになる

【対面】

敵駒と向かい合うと、互いに利きが入れ替わる

【アンチキルケ】

1. 駒取りを行った場合、駒取りをした駒は最も近い初形位置に戻る
2. 5筋の金銀桂香は取った側が戻る位置を選択できるが、片方のみ戻れる場合はそち

らに強制的に戻る

3. 成駒は成ったまま戻る
4. 初形位置に戻れない駒は戻らない
5. 駒取り発生時、駒が戻るまでを一手とする
6. 詰みの概念はフェアリーに準ずる

【Messigny】

- 1 盤上に置かれている双方の同種の駒 (玉を含む。成駒は別種の駒として区別する) は、1手でその位置を交換することができる
2. 交換する時に駒を裏返すことは出来ない
- 3 行き所のない駒や、二歩が発生するような交換は禁手
- 4 x と y の位置にある駒を交換する着手を y / x で表す

【キルケ】

1. 駒が取られると最も近い将棋での指し始め位置に駒が戻される。戻せないときは持駒になる。但し、玉には適応されない
2. 戻す位置が 2 つある場合 (5筋の金銀桂香) 戻す位置の選択は取った側が行う
3. 成駒は生駒として復活する。と金が復活して二歩になる場合は、復活できずに持駒になる

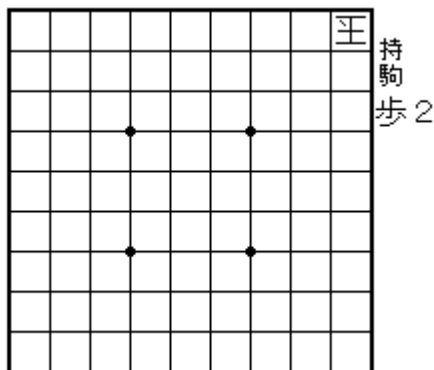
【前置き】

北村氏から初投稿を頂きました。有難うございます。今後も宜しく申し上げます。今回は順番が適当ですが御承諾を。手数は短いので苦労はしないと思います。第伍番は不要駒ぼいのが多数ありますが実践初形からの模索という事で気にしないで下さい、との事です。それでは今月もお楽しみください

【妖精】

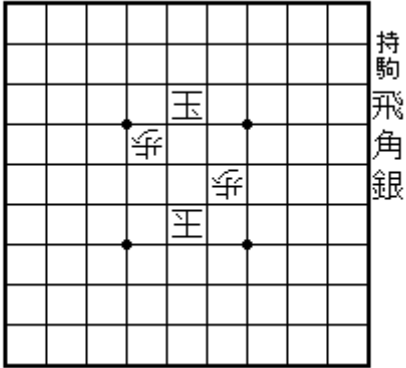
【第壱番】 北村太路氏作

安北協力詰 11手



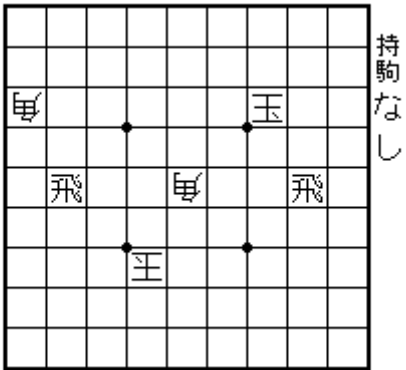
【第貳番】 神無太郎氏作

Messigny 協力自玉スタイルメイト 10 手



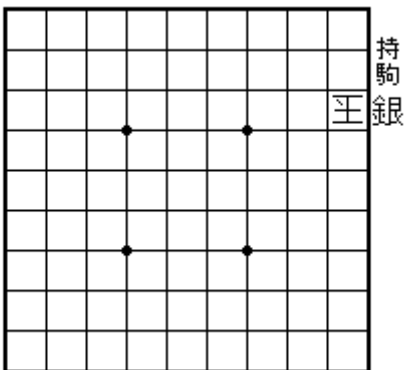
【第参番】 北村太路氏作

安騎協力千日手 8 手 (C-)



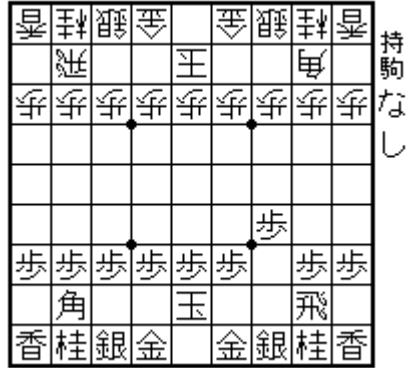
【第四番】 たくぼん氏作

対面キルケ協力詰 7 手



【第伍番】 たくぼん氏作

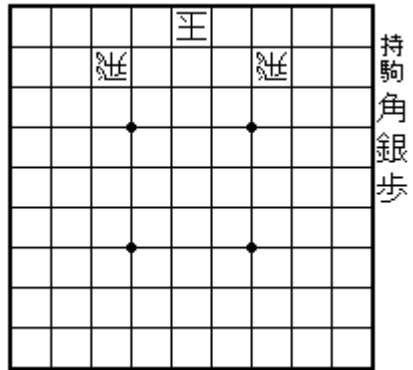
安南協力自玉詰 14 手



【課題作品展】

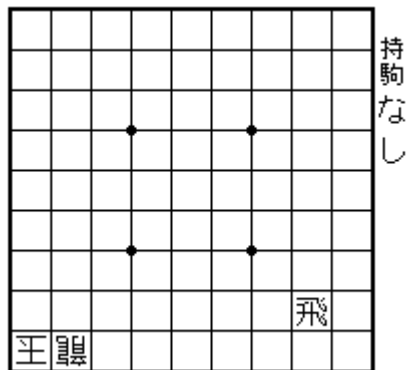
【第壱番】 シン氏作

アンチキルケ協力詰 5 手



【第貳番】 シン氏作

キルケ協力詰 7 手





フェアリー版ギネスに挑戦！

～持駒最多のばか詰～

WFP27号で募集しました「ギネスに挑戦！持駒最多のばか詰」。これまでの記録は森茂作の19枚でしたが、これを越える作品を募集しましたところ名の方から応募を頂きました。出題図を見ていただければ結果が分かりますので記録順にて出題します。なお19枚以下の作品もあります折角ですので一緒に出題します。

No.1 持駒23枚

小林看空作 ばか詰 53手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
銀	王	香							一
									二
金		王				飛	香		三
銀	飛					香			四
角								歩	五
金									六
			銀						七
		金				香			八
									九

持駒 角銀桂4歩17

No.2 持駒22枚

たくぼん作 ばか詰 61手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							角	角	一
				飛				王	二
		香	銀	王	銀	金			三
		歩				銀			四
								金	五
				香				金	六
									七
	飛	香						香	八
				銀					九

持駒 金桂4歩17

No.3 持駒21枚

神無七郎作 ばか詰 81手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
				銀	銀				五
		飛	歩	香	香	桂	皇	香	六
				王	銀	香			七
					香	香		角	八
	香	王		王	飛				九

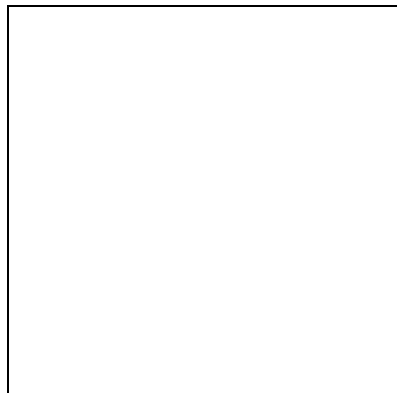
持駒 飛桂3歩17

No.4 持駒21枚

小林看空作 ばか詰 55手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						角			一
								飛	二
							歩	王	三
		香	銀	銀					四
		香	金	銀					五
	桂	歩						香	六
		飛						銀	七
王	王	角							八
									九

持駒 金3桂3歩15



**NO.5 持駒 21枚**

北村太路作 ばか詰 57手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							王		二
		銀					歩		三
		歩	飛	飛					四
				桂					五
					角	香	桂		六
					香	香	桂		七
		香				角	歩		八
						王	王		九

持駒 金4銀3桂歩13

**NO.6 持駒 20枚**

北村太路作 ばか詰 73手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
金		飛					銀	銀	一
							香	王	二
			王				香		三
		歩					香	銀	四
			歩					金	五
								金	六
					角	角		金	七
		香							八
					銀				九

持駒 桂4歩16

**No.7 持駒 18枚**

小林看空作 ばか詰 49手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
銀	金						銀	銀	角	一
王	香							飛	金	二
	香								桂	三
						金				四
				王				桂		五
	香	金		銀				桂		六
	香						飛			七
										八
桂									角	九

持駒 歩18

解答送り先：

たくぼん takuji@dokidoki.ne.jp

解答締切：2010年12月15日(水)

解答発表：WFP 12月号

感想、短評などよろしくお願ひいたします。

推理将棋第39回出題

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第39回出題です。はじめての方は

どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門

([http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post\\_53f2.html](http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html)) をごらんください。

解答、感想はメールで2010年11月20日までに TETSU まで

(omochabako@nifty.com) メールのお題は「推理将棋第39回解答」をお願いします。

推理将棋第39回出題 担当 タラパパ

新人2名の作品は、意外に難問かもしれません。初級は手数は短いのですが、ちょっと捻った手順ですし、上級は13手と手数が長く、チャレンジ精神豊かな意欲作と言ってよいと思います。そしてベテランDD++さんの作品。短い手数で居玉を詰ませるには、3つの基本的な筋があると、解説でよく書いてきたのですが、DD++さんにそれを覆されました。担当の盲点を衝いて「面一本!」。実に苦々しい作品です(笑)

39-1 初級 赤い影法師さん作  
32に駒打ち 9手

どちらが何手目に何を32に打ったのか、よぉ〜くお考えください。

39-2 中級 DD++さん作  
金付き居玉の詰ませ方 10手

玉の両隣に金が二枚居ます。打った駒が桂馬でない詰み形とは?

39-3 小春日和さん作  
暴れ龍 13手

龍を3回動かすのは意外に大変。双方全部別の筋ということはない?

追加ヒント (11月8日 タラパパ)

早めですが、一回目のヒントです。

初級: 止めは駒を打つ手です

中級: 止めは先手の金頭に駒を打つ手です

上級: 単騎詰ではありません

追加ヒント (11月13日 タラパパ)

追加ヒントです。上級はかなり難問のようすが....。

初級: 32に駒を打ったのは後手です。

中級: 「玉も金も初形のまま」は後手にも適用されます。急所は58の逃げ道塞ぎ。

上級: 先手3枚、後手2枚の駒を動かしました。駒打ちはなく急所は4筋です。

39-1 初級 赤い影法師さん作  
32に駒打ち 9手

「あの将棋、たった9手で詰んじゃったね」  
「途中で発止と、32に駒を打ったあたりがヤマ場かな」

「一度だけだったけど、不成なんて手があったのには驚いたよ」

「終わってみれば、後手の41玉が負けを早めたのかな」

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 途中で(最終手ではない)32に駒を打つ手があった
- ・ 一度だけ不成があった
- ・ 後手は41玉と指した

39-2 中級 DD++さん作  
金付き居玉の詰ませ方 10手

「この前金付き居玉のままたった10手で詰まされちゃった」

「両王手をかけられたのかな?」

「いや、トドメは駒打ちだったよ」

「じゃあ吊るし桂までか」

「いや、打たれたのは桂じゃない」

「え、本当に金付き居玉だったの?」

「うん、玉も金も最後まで初形のままだったよ」

「両王手でも吊るし桂でもない金付き居玉の詰ませ方ねえ・・・」

「あ、そうそう、普通の将棋だったから不成の



手はなかったよ」

(条件)

- ・ 10手で詰んだ
  - ・ 玉と金は最後まで初形のまま
  - ・ トドメは桂以外の駒打ち
  - ・ 不成なし
- 

**39 - 3 上級 小春日和さん作**  
**暴れ龍 13手**

「隣で指してた13手で詰んだ将棋さ、先手も2つの筋、後手も2つの筋にしか指していないって気がついた？」

「龍が動く手が全部で3回もある激しい急戦だったからだろう」

「後手が同角と取る手を逃してからは、先手が指し易くなったよね」

(条件)

- ・ 13手で詰んだ
- ・ 先手も後手も、各々2つの筋の手だけ指した(※)
- ・ 龍が動く手が計3回あった
- ・ 後手は同角(棋譜表記上)と取れるところで、そう指さなかった

※ 相手の指した筋に束縛されません。例えば先手が1・2筋の時、後手も同じ1・2筋でもOKですし、8・9筋のように全然違ってもOKです。

# 第 27 回 WFP 作品展結果 担当 紅月花煉

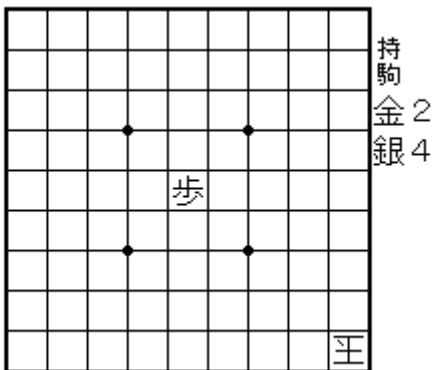
3 題正解者：雲海氏 神無七郎氏  
隅の老人 B 氏 K.Komine 氏

## 【前置き】

雲海氏、K.Komine 氏から久し振りに解答を頂きました。有難うございます。今後も時間があれば解答御願ひします

## 【妖精】

【第壱番】たくぼん氏作  
強欲協力詰 19手



## 【作意】

28銀 同玉 37銀 同玉 46銀 同玉 36金  
55玉 46銀 44玉 35銀 33玉 44金 23玉  
34金 14玉 24金 15玉 26金 迄 19手

## 【作者コメント】

簡単なあぶり出しです

## 【担当者コメント】

55歩を餌にして拠点を作るまでは一本道です。なので、詰上りは金2枚銀1枚で詰ますためには端を使用する必要があります。それに気づけば非常に易しくダイヤが炙りだされます

## 【短評】

雲海氏：

やさしい曲詰ということでしょうか？易しいと言うよりは優しい作品でした

神無七郎氏：

55歩をエサにして拠点を残すのは強欲詰の手筋。全体のストーリーは、田舎から都に出て最後にダイヤ（◇）を見つける…といったと

ころでしょうか？

隅の老人 B 氏：

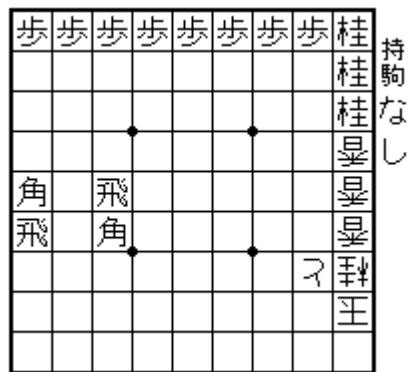
7手目が山、これを越えれば、後はスンナリ。口で言うのは易しいけれど？

K.Komine 氏：

当初、受先だと勝手に思い込んで、「54に何打つのかなあ」なんて考えていた。詰む形はこれくらいなので、そんなに難しくはない

## 【第貳番】神無太郎氏作

安南協力自玉スタイルメイト16手



b) 27 と→28と

## 【作意】

- a) 48飛 28歩 同飛 同と 45角 27歩  
同角 同と 98飛 28歩 同飛 同と  
54角 27歩 同角 同と  
迄 16手 駒余り歩4
- b) 54角 27歩 同角 同と 78飛 28歩  
同飛 同と 45角 27歩 同角 同と  
98飛 38歩 同飛 同と  
迄16手 駒余り歩4

## 【作者コメント】

ツインの戯作です

a) 16手目の局面で19歩は打歩詰の禁手。

従ってスタイルメイト成立

b) 人間の慣性を利用したトリック作。

「戯作」という宣言も、その罠のひとつ。

14手目28歩を一瞬でも作意として考えた人がいたなら作者の勝利

【担当者コメント】

1段目にある歩と1筋にある駒柱がポイントになっています。A)では盤面にある大駒が全部歩に変換された時点で歩を打てなくなっておりスタイルメイト。B)でも同様です。但し、と金の最終位置が同じようにすると28に合駒すると28になってしまう事だけが注意が必要です

【短評】

雲海氏：

持駒が残るスタイルメイトってあるんですね。と金の位置で76の角の処理が一番最初か一番最後になるかの違いにより、飛→角→飛→角の順に捨てる、と角→飛→角→飛の順に捨てるの対照性が生まれて綺麗なツインに

神無七郎氏：

最終形で持駒が余るスタイルメイトの初出はもず氏の作品ですが

(<http://kofu.cool.ne.jp/mozuyama/mozuiro/fairy/bajistale2.html> の第4番 マドラシ協力自玉スタイルメイト 26手 を参照してください)、本作は一步それを進めて、合駒で残留する駒を入手していますね。「第33回神無一族の氾濫」では「盤上に攻駒の残るスタイルメイト」を募集しましたが、「合駒を取るスタイルメイト」を募集しても面白かったかもしれません

隅の老人B氏：

打歩に気づけば簡単？これまた、口で言うのは易しいけれど

たくぼん氏：

私も同じようなこと考えてました。飛と角の消去パズルと上手く掛け合わせてますね。さすがです

K.Komine氏：

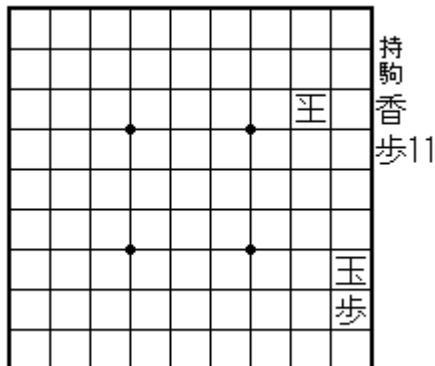
余ほど勘が鈍っているらしく、花駒の意味を理解するのに手間取ってしまった。それに気が付いたら即解けましたけど…。駒余りの最終形でこんなのを思い出したりしました

以下引用

もず／もずいろ／

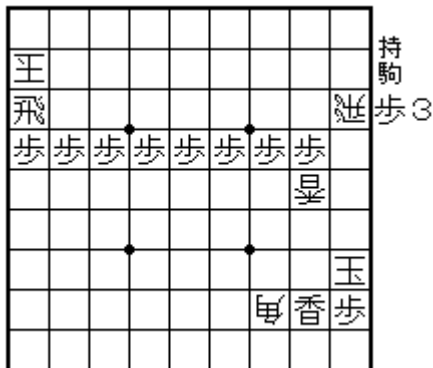
2001年3月26日／完全

マドラシ協力自玉スタイルメイト 26手



29香 28角 同香 25香 24歩 33玉 34歩  
43玉 44歩 53玉 54歩 63玉 64歩 72玉  
94角 83飛 同角生 38角 74歩 83玉 84歩  
93玉 94歩 92玉 93飛 13飛迄26手3歩余り

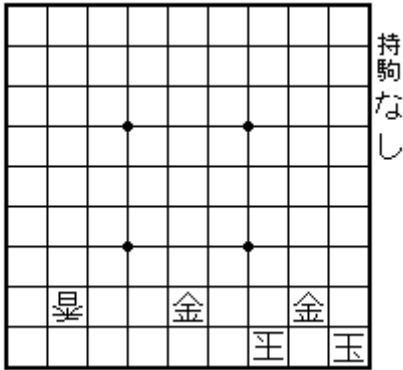
詰上図



駒余りだが、ば自スタイルメイトにおいては駒余りの方が珍しいので、あえてこれで完全と主張したい。持ち歩を一枚減らすと次のような余詰が生じる(神無太郎さん指摘)。このため、持ち歩を1枚増やしました

24歩 同玉 25歩 33玉 34歩 同玉 35歩  
同玉 36歩 25玉 29香 28飛 同香 26香  
35飛 95飛 85歩 同飛 75歩同飛 65歩 同  
飛 55歩 同飛 45歩 同飛 迄 26手

【第参番】 神無七郎氏作  
 キルケ協力自玉詰 44手



【作意】

29金 49玉 48金 59玉 58金 69玉 68金  
 79玉 78金 89玉 88金 /91 香 同玉 /69 金  
 78金 97玉 87金 98玉 97金 88玉 98金  
 同香成 /69 金 79金 77玉 88金 同杏 /69 金  
 78金 同杏 /69 金 68金 66玉 57金  
 同玉 /69 金 68金 同杏 /69 金 58金  
 同杏 /49 金 48金 46玉 37金 同玉 /49 金  
 48金 同杏 /49 金 38金左 同杏 /49 金 28金  
 同杏 迄 44手

【作者コメント】

これは完全な新作ではなく「第11回神無一族の氾濫」で出題した自作（キルケばか自殺詰 80手）の修正図のつもりです。ほとんど原図の面影はありませんが、元々やりたかったことの骨子のみを取り出し、シンプルにまとめるところになりました。まあ、10年も経つと作者の嗜好も変わる…ということでしょう

【担当者コメント】

この投稿を見た時に氾濫の作品を思い出したのですが案の定でした。  
 盤面に金と香しかないので本ルールだと88に居る香で詰ますことになります。香を杏にしてリサイクルできる金を利用して送ってくる事になりますのですが、ポイントは金銀桂香だと5筋で取られると4筋か6筋のいずれかに再生できるということです。趣向がシンプルですが楽しめる好作だと思います

【短評】

雲海氏：

キルケの特性を生かした送り趣向でしょうかね。シンプルな形から玉だけではなく成香も移動させるとは！

隅の老人B氏：

巧みに成香を連れてきますね。少ない駒で巧みな演出、流石、流石！

たくぼん氏：

詰上り11香までかと思ったらありえませんでしたね（笑）香～成香の大移動お見事です

K.Komine氏：

美しい追い方こそが最短の追い方。解図時、左辺で成香を作る周辺の手順で少し試行錯誤が必要だったが、何も駒が無いのによく完全限定できたと思う

【総評】

たくぼん氏：

今月は難易度はそれほどでもありませんでしたが、解後感の良い物ばかりで良かったです

開催日 : 2010年10月10日(日)  
 解答発表 : 2010年11月7日(日)

神無太郎 氏作

Messigny協力自玉詰 24手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						金			一
						王			二
								王	三
						王			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【ルール説明】

協力自玉詰 (=ばか自殺詰)

先後協力して最短手数で、攻方の王を詰める。

**Messigny**

盤上に置かれている双方の同種の駒(玉を含む。成駒は別種の駒として区別する)は1手でその位置を交換することができる。交換する時に駒を裏返すことは出来ない。

【手順】

13 王 /32 玉 33 玉 34 金 /31 金 13 玉 /33 王  
 24 金 12 玉 同王 /33 玉 32 玉 31 金 /24 金  
 42 玉 32 金 同金 /24 金 33 金 31 玉 32 金  
 /33 金 12 玉 /31 王 22 金 同金 /33 金 23 金  
 11 玉 12 金 31 玉 /11 王 21 金 同金 まで  
 24 手

神無太郎 氏作

Messigny協力自玉詰 24手(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						王	王	王	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【解説】

使用駒は玉2枚と金2枚だけというミニマル作品。実に簡素な初形ですが、力づくで解こうとしてはいけません。空しい駒の入れ替えを繰り返した挙句、どこに向かえば良いのかサッパリ分からないまま途方に暮れることになります。

こういう作品を解くときの常道は「詰上りから考える」です。このルールと使用駒なら合駒は出ないので、詰上り型に限られます。もし手数が充分あれば攻方玉を9段目に持ってきて頭金で詰ませる形もありますが、24手という手数ではそれは無理です。従って「攻方 11 王・受方 31 玉 21 金」という詰上り型しかないことが分かります。厳密にはこれを左右反転させた型や受方 32 玉という型もありますが、手数や逆算可能性を考えるとこれらの候補は消え去ります。更にこの詰上りから1手逆算すると「攻方 11 王 21 金・受方 31 玉 22 金」、更に1手逆算して「攻方 11 王 12 金・受方 31 玉 22 金」、更に1手逆算して「攻方 31 王 12 金・受方 11 玉 22 金」(Messignyらしい手が出てきた!)……といった具合に後ろ8手くらいは順調に逆算できると思います。

この逆算解法である程度後ろを固めたら、今

度はそれを念頭に頭から解いていきます。逆算で出てきた局面になるべく近くなるように、駒の位置を調整しつつ手順を進めれば、最初から無目的に試行錯誤を繰り返すよりはるかに短い時間で正解に到達できるでしょう。

本作は 24 手の中に Messigny らしい駒の入れ替えが 10 回も登場し、Messigny ルールの感覚を身につけるのに大いに役立つ作品になっていると思います。本作は「玉+小駒」の入れ替えを主としたパターンですが、神無太郎氏は「玉+大駒」の入れ替えを主としたパターンを WFP に発表されています。

これらの基本パターンが研究・発表され、Messigny の基本的な性質を作家や解答者が熟知するようになれば、次にはより高度な応用作品が生まれてくるでしょう。今はそれに備えた地ならしの時期なのではないかと思えます。

【正解者及びコメント】（正解 3 名：到着順）

#### 瘋癲老人さん

出だしはこの筋だろうと確信は持つがなかなか手数が縮まらない。7 手目の 12 王が見えませんでした。駒が大きく動くので解後感はいいです。

☆ 今回も瘋癲老人さんが早々に解答一番乗り。しかも締切近くまで他に解答者がいない「独走状態」でした。7 手目が見えにくいという感想はとてもよく分かります。「王手をするために玉以外の駒を動かす」ことに我々は慣れているのですが、「王手をするために玉を動かす」という習慣がないからです。頭では分かっているけど感覚がそれに追いつかない、という状態はそのルールがある程度浸透するまではどうしても避けられない現象です。

#### たくぼんさん

詰上りが予想付くので逆算も利用して解きましたが、32 金 / 33 金が意外と見えず時間が掛かってしまいました。これだけの長丁場が唯一解とはすごいです。もっともっと長いのもどこかに潜んでいそうですね。

☆ おそらくこの領域は神無太郎さんが徹底的に調べていると思うので、ぜひ聞いてみたいで

すね。単純に考えれば「玉+金」でこれだけ長いのですから、「玉+銀」ならもっと長いものがありそうですが、非限定が避けられるかどうかは分かりません。それに、太郎さんは「手数」よりも「入替回数」を重視して発表作品を選んでるように思えるので、「玉+金」でもっと長いものがありそうです。

#### 隅の老人 B さん

出題図を眺めて、あれやこれやと最終図を考える。王と金だけで最終図は？試行錯誤の末、ひねり出した最終図、偶には当たることもある。根気、それとも運が良かったか、久しぶりに OFM が解けました。

☆ 隅の老人 B さんは第 160 回以来の解答。たった 3 回しかお休みされていないわけですが、それでも間が空いてしまったように感じるの、普段から活発に解答に勤しまれている証拠だと思います。今後も慣れないルールが飛び出すことがあるとは思いますが、よろしく解答をお願いします。

☆ 私事になりますが、今月半ばに引越しを予定しています。次回の出題はいつも通り一週間後（14 日）に行いますが、荷物の整理と通信環境の復旧が終わるまで、しばらく解答募集受付を遅らせることになるかもしれません。やや変則日程になりますが、次回は詰パラ 12 月号掲載予定の「氾濫 33」にちなんでステイルメイト作品の出題を予定しています。「氾濫」ともども解答をよろしくお願いします。

（2010.11.7 七郎）

## Fairy of the Forest#25結果発表

- 2010年09月18日：課題発表：（協力詰）初形面積「4×5」
- 2010年10月18日：投稿締切
- 2010年10月20日：出題
- 2010年11月15日：解答締切
- 2010年11月18日：結果発表

### ■ 出題

当初の締切日である15日までに集まった作品は、何とゼロ。「またひと月延ばすことになるのかなあ」と思いつつ、とりあえずたくぼんさんのブログで18日までに延期の旨をコメントしたところ、常連の方から4作が集まりました。皆さん流石です。どうもありがとうございます。

さて、何とか集まったものの、4作では少ないし作品も短篇ばかりなので、再延期も考えたのですが、今回はこのまま出題することにします。このところ投稿締切をひと月延ばすことが続いたので、この辺でスケジュールを正常化しようと思ったからです。ボリューム不足で物足りないかも知れませんが、解答者増を（ひそかに）期待しています。

なお、「5×4」の作品も混じっていますが、その辺は大目に見てください。

### ■ 結果発表

#### 【今回の解答者】

（敬称略、到着順、○は全題正解者）

○神無七郎、○小峰耕希、○たくぼん、○隅の老人B、占魚亭、○雲海、○赤土陽一

たくぼんー4×5というのは創りやすそうに思ったが、意外と漠然としていて難しかった。難しい作品はないので解答者増に期待します。

☆結果は……微増でした。ただ、前回に引き続き、占魚亭さんから解答があったのと、下記のお二方から解答があったのは嬉しかったです。

小峰耕希ーご無沙汰しております。いつの間にか"元"常連と化しておりますが、久方振り解図してみました。

赤土陽一ーお久しぶりです。いや、ここは、ただいまと言った方がいいでしょうか？□4問全て解けたので、解答を送付いたします。

☆今後もよろしくお願いします。

### ■ 25-01 雲海 協力詰5手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					科					一
										二
							龍			三
			歩	王						四
						飛				五
										六
										七
										八
										九

持駒 角

44角 54玉 53角生 44桂 64角成  
まで5手

作者ー狙いは角の半回転と桂の移動合。協力系らしさはでているかと。

七郎ー小さいけれども角回転。WFP作品展などで雲海さんの作品を解いている人には一目？

☆なかなか一目とはいかなかったようです。

占魚亭ー詰上りが見えなくて、ギブアップするところでした。竜の利きを一旦遮断するんですね。

小峰ー移動合がさっぱり見えず、今回最大の苦戦。

赤土陽一ーてっきり龍のそっぽとっていました。桂馬を跳ばせる間に、すれ違うかのような

小気味良い角の半回転。

数年ぶりに見かけたけど、声を掛けそびれた幼馴染といったところでしょうか。

たくぼん—小さく角を 3/4 回転がかわいらしい。移動合がいい味付け。

☆回転が少し多いような……。

隅の老人B—不成に移動合。短手数でも盛り沢山、ピリリと締まる。

☆小品ながら好評でした。

■ 25-02 たくぼん 協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						銀	桂	香	一
				飛					二
								歩	三
						玉	桂		四
				角			金		五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

25 金 23 玉 14 金 33 玉 24 金 22 玉 33 金  
12 玉 24 桂 まで9手

作者—姉妹作です。

☆1箇所だけ異なる同手数作なので、「ツイ」が適切でしょうか。

占魚亭—桂の単騎詰だと思っていたので、少し時間がかかりました。

☆という評もあったものの、概して簡単だったようです。

小峰—素直な吊るし桂。

隅の老人B—王と金のダンス、ワルツのリズム

で、123、123。

赤土陽—桂馬が落ちているので、45の角もそれとなく吊るし桂を示していて、比較的簡単でした。

七郎—いかにも14桂を食べてくださいという構図。42飛が不要なのはいかながなものでしょう……。

☆う—む、不要駒がありましたか。

■ 25-03 たくぼん 協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
							銀	桂	香	一
						飛	桂		二	
								歩	三	
							玉		四	
					角			金	五	
									六	
									七	
									八	
									九	

持駒 なし

25 金 44 玉 35 金 54 玉 45 金 43 玉 34 金  
32 玉 23 角 まで9手

赤土陽—一角を取りにいて押し戻したら、詰んじやってました。

☆とはいえ、こちらの方がやや歯ごたえがあったようです。

占魚亭—玉が広い方へ行くので不安になりましたが、6手目を発見して安心しました。

小峰—今度は壁桂の詰み。

隅の老人B—今度はブルース？ スロー、スロー、クイック、クイック。

雲海—両方とも駒を取ってその駒で詰みという流れですね。



個人的には3番→2番の順で出題のほうが良いのではないかと思います。(22桂だとこの手順。じゃあこの桂が跳ねた形だとどんな手順?という感じで)

☆投稿図に書いてある順番どおりに並べたのですが、確かに入れ替えた方がよかったかも知れませんね。次のような感想もありましたし。

赤土陽一—第三問に14飛、同桂を加え、余詰め筋から作品に昇華したのが第二問だったのかなと感じましたが、本当のところはどうなのでしょうか?

七郎—こちらは飛と角のどちらを取りに行くか迷いました。角打までの詰上りが見えにくいせいですね。

そしてこちらの方は11香が不要。チェスプロブレムのツインでもこういうことはよくありますが、興醒めなのであまり真似して欲しくないところです。

☆不要駒がある所まで似ていましたか……。気づいていたら省いてもらうのでした。

■ 25-04 神無七郎 協力詰 15手 (後手持駒なし)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				馬		王		香	一
					飛		歩		二
				歩	王				三
					馬	香			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂歩

21歩成 同玉 13桂 31玉 21桂成 同玉  
22歩 12玉 21歩成 22桂  
11と 13玉 14歩 同桂 12と まで 15手

作者—桂を相手に渡す手順。構想を膨らませる

ことができなかつたので、ほぼ原理図そのままです。

雲海—後手持駒無しが最大のヒントですね。おかげで後手に駒を渡す作だと一発でわかりました。

☆協力詰ならではの構想ですが、すぐに桂を渡そうとすると失敗します。

占魚亭—ううむ、15手で詰まない。

23桂、同銀、21歩成、同玉、22歩、12玉、21歩成、32桂合、11と、13玉、12と、同玉、13歩、21玉、12歩成、31玉、22とまで17手の順しか浮かばない……。

赤土陽一—桂を渡して、桂合いというのは分かるのですが、とりあえず23に捨てたくなるのに、13から21に捨てるとは、盲点を突かれました。

小峰—1手損(?)しても銀を34に置いておくのが良い。

たくぼん—初手に23桂と相手に桂を渡そうとして頭を捻る。ちょっと回りくどい方法で渡すのがみそでした。渡した桂を退路封鎖に使わずところがさすがです。

☆合駒させた桂が動く所がよいですね。

隅の老人B—不識庵、機山に塩を送るの図。

☆不識庵=上杉謙信、機山=武田信玄なんですね。調べてみて初めて知り、恐れ入りました。

【総評】

占魚亭—全然解けなくて解答は送れないと思いましたが、なんとか3作解けました。

☆ご解答ありがとうございました。

小峰—4局とも桂が印象的でした。

☆確かに! □ 03 だけは微妙ですが、一応 22

桂が働いているし。

七郎一今回の課題「4×5」しか覚えていなかったのので、「4段×5筋」でも良いと勝手に思い込んでいました。

□正しくは「4筋×5段」だったのですね。規格外の作品を送ってしまってますみません。

☆いえいえ、助かりました。投稿数が少なかったら、「5×4」でもOKにしようと思っていました。

雲海一ところで「A×B」って聞くと、Aが縦でBが横というイメージ（長方形の面積を求める公式はそうですね）があるのですが、将棋だと逆なのではないでしょうか？

☆よく分かりませんが、駒位置を示す数字は横（筋）→縦（段）の順番ですよね。それと関係があるのかも？

## Fairy of the Forest #26課題発表

■ 2010年11月18日：課題発表：（協力詰）突き歩詰

□ 2011年01月15日：投稿締切

□ 2011年01月18日：出題

□ 2011年02月15日：解答締切

□ 2011年02月18日：結果発表

### ■ 課題発表

☆「森茂作品から……」という七郎さんの提案を受けて、今回の課題は「突き歩詰」とします。

参考にしたのは次の作品です。

■ 1973年9月号／ばか詰 37手【たくぼんのページ／森茂作品集（詰将棋パラダイス編）第7番】

<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/mori/moriPara.html>

## ばか詰 37手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				銀		藤	科	王	一
					歩				二
					歩	馬		歩	三
				歩			歩		四
				継		歩		科	五
					桂		マ		六
									七
									八
						マ	桂	香	九

持駒 歩9

12 歩 22 玉 23 歩 12 玉 22 歩成 同玉  
34 桂 23 玉 22 桂成 14 玉 15 香 同玉  
16 歩 25 玉 17 桂 同と 26 歩 35 玉  
36 歩 26 玉 27 歩 同玉 19 桂 36 玉  
37 歩 35 玉 36 歩 34 玉 35 歩 同玉  
27 桂 34 玉 35 歩 25 玉 26 歩 14 玉  
15 歩 まで 37手

☆本作は、13手目に打った16歩を37手目に15歩と突いて詰上げる、いわゆる「先打突き歩詰」となっています。

歩を打ってから24手目に詰上がるわけで、この潜在期間の長さをモチーフにすることも考えられます。

☆多数の投稿をお待ちしています。

（投稿先）

→酒井博久（sakai8kyuu@hotmail.com）

# 詰将棋メモ

## 推理将棋第 38 回出題解答

担当 タラパパ

出題日 : 2010年10月 4日  
 解答締切 : 2010年10月20日

### 推理将棋第 38 回解説 担当 タラパパ

初級を除き、このコーナーでも屈指の難問を揃えた(つもりの) 今月、解答者減を心配したのですが、20名もの解答が集まったのですから嬉しい大誤算です。しかも解答者からは余裕でオール秒殺の声まで。う、うっそでしょう(汗) その一方で、38-2(中級)で二度にわたり余詰が出てしまいました。粗検をお詫びいたします。

### 38-1 初級 タラパパ作 天邪鬼な夫

10手

「あなたたった10手で詰まされたんですって?」  
 「最初からの4手を1・2・3・4筋の順に指されてね」  
 「わかった!あなた最後からの4手を1・2・3・4筋の順に指したでしょ?」  
 「ど、ど、どうして分かるのさ」  
 「その天邪鬼な性格、直したほうがいいわよ」

(条件)

- ・ 10手で詰んだ
- ・ 後手は最初からの4手を1・2・3・4筋の順に指した
- ・ 先手は最後からの4手を1・2・3・4筋の順に指した

※順番に「?、1、4、2、3、3、2、4、1、?」の各筋の着手ということ。

### 推理将棋 38-1 解答

▲3六歩、▽1四歩、▲4八玉、▽2四歩、  
 ▲3七玉、▽3四歩、▲2六玉、▽4四角、  
 ▲1六玉、▽1五歩 まで10手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	
二		飛								
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩				
四						馬	歩	歩		
五									歩	
六							歩		王	
七	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	
八		角						飛		
九	香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	

持駒 なし

後手は2手目に12香か14歩の選択しかなく、しかも4手目は24歩の一手しかありえません。後手陣内に働くことができるとすれば、先手から33角と飛び込んで貰って、6手目にこれを取り、48角と打つくらいでしょうが、後続手段はまったくありません。

ならば、玉に先手陣の外に出てきてもらって、その間に14歩~24歩~34歩~44角と少しでも先手陣に駒を近づけるしかなく、15歩までの突歩詰は紛れる余地のない手順でしょう。

この作品は、後手の条件を先に決め、それに合致する順を模索してできたもの。先手条件は手順前後解消のためだけにあります。

たくぼん 「面白い条件で、親切設計。つかみはOK」

■本局の狙いは正に”つかみ”。それだけ(笑)

ミニベロ 「これは条件付けの勝利でしょう。それにしてもタラパパさんの会話文は、怖い奥

さんと駄目亭主のパターンが多いようだけど、気のせいかな？」

■ど、ど、どきい〜〜ん！

**DD++** 「これは直感で1筋玉。最初に飛に手を伸ばしかけたところで何か違和感を覚え、冷静に36歩と着手。ファーストトライで見事詰みました。」

■飛車に手を伸ばすと18玉。本命はやっぱり外ですもんね。

**はらたつと** 「手なりでさっさと片付けました（笑）」

■はい、期待通りでした。

**リーグ戦ファン** 「先手玉が右端に行くのが第一感だったのに、歩が突けないから手が足りないと思い込み泥沼に。初手▲76歩から角を渡すような手を10分ほど考えてました。冷静になれば、後手の▽14歩あるいは▽12香が無駄手ではありえないので、やはり右端で詰ませるしかないのですよね。これは確かに初級、易しい小品の佳作と思います。」

■1筋の手はお示しの2通り可能ですから、これを無駄手にはできないですもの。

**香箱** 「秒殺×、分殺○」

■遅い！（笑）

**はてるま** 「条件をのみこむのに少し時間要、解き始めると一瞬。たしかに手なりだ。44角が気持ちのいい手ですね。」

■そうか、秒殺でなく分殺の理由は、それなんですね。”遅い”なんて言って香箱さん、失礼しました。

**斧間徳子** 「客寄せ問題ですね。」

■はい。こういうのが欲しいので、どなたか考えてください。

**渡辺** 「詰みは容易に見えますが、面白い条件を考えましたね。」

■先手条件は、破れかぶれってところでしょうか（笑）

**中村雅哉** 「条件の理解にまごつきそう。素材に「先手は3手目から4・3・2・1筋の順に指した」とする方が頭に入りやすい気がします。」

■たしかに。今思えば、せめて括弧書きで補足しておくのが”たしなみ”でした。

**NAO** 「手順よりも会話文に惹かれました。『ど、ど、どうしてわかるのさ』オレのことかと・・・」

■NAOさん、あなたのことですよ！浮気してるでしょ？（笑）

**宮谷保可楽** 「確かに手なりで片づいた（でも、秒殺ではない）。玉が1筋に押し込められていくあたり、流れがきれいだからか。」

■秒殺でないのは、やはり条件理解までにかかる時間？

**鈴木康夫** 「突き歩詰までとの予想が当たったので解答時間1分でした。」

■ばっちり予想でした。

**S. Kimura** 「玉が出て行くことを思いついて何とか解けました。」

■協力体制が必要ですから。

**はなさかしろう** 「綺麗な文面ですが、筋条件... と思いきや、これはまあ玉が出て行くわけで、すらっと解けて嬉しい問題でした。」

■喜んでいただけて何よりです。

**竹野龍騎** 「すっきりした条件だけど覚えづらいなあと思ったが、覚える必要はなくすぐに解けて納得。」

■やはり覚えづらい・・・（汗）

**隅の老人B** 「初手の発見が総て。手順より問

題文に感心。」

■先手が3手目から6・7・8・9筋の順で10手というのも考えましたが、条件が揃わないのでこちらの端にしました。

**占魚亭** 「玉は4人で詰むと思っていたので、追加ヒントがなかったらギブアップするところでした。」

■追加ヒント、役に立ちましたか(^\_^)

**はやし** 「そりゃ玉で出て行ったら詰まされるわな。」

■筋悪の先手に教えてあげてください。そりゃアカンって。

-----  
正解：20名

S. Kimuraさん 斧間徳子さん 香箱さん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 占魚亭さん たくぼんさん 竹野龍騎さん 躑躅さん DD++さん NAOさん 中村雅哉さん はてるまさん はなさかしろうさん はやしさん はらたっとさん ミニベロさん 宮谷保可楽さん リーグ戦ファンさん 渡辺さん

-----  
**38-2 中級 夏休みさん作**  
**大空のキャンパス 13手**

「この二人の対局は自由奔放だね。まるで大空のキャンパスに絵を描いているようだ」

「後手は8手目までマネ将棋だったのに、10手目は42角と変化したね」

「先手の歩の手と駒を取る手は一度だけだったけど、13手で詰ましたね」

「先手の歩の手は一度、取った駒も歩が一枚だけだったけど、13手で詰ましたね」 (10月7日変更)

「そういえば、成る手がなかったね」 (10月11日追加)

二人は盤上にどんな絵を描いたのでしょうか。

(条件)

- ・ 13手で詰んだ
- ・ 8手目までマネ将棋だったが、10手目の42角でマネから外れた
- ・ 先手の「歩の手と駒を取る手」は一度だけだった
- ・ 先手の歩の手は一度だけだった (10月7日変更)
- ・ 先手の取った駒は歩が1枚だけだった (10月7日変更)
- ・ 成る手はなかった (10月11日追加)

※マネ将棋・・・55を中心とした点対称の同じ動作(動かす・打つ)の着手

たとえば、「76歩、34歩、55角、同角」もマネ将棋です。棋譜表記も違い、一方だけ駒を取りますが、点対象の位置に、同じ場所から同種の駒を動かしているからです。

※10月7日訂正(タラパパ)

DD++さんから余詰の指摘がありました。作者に連絡して、修正案を頂きましたので、上記の通り修正します。作意手順は変わりませんので、既に解答された方は再解答の必要はありません。

※10月11日訂正(タラパパ)

7日の修正案についても渡辺さんから余詰の指摘がありました。作者に連絡して、修正案を頂きましたので、上記の通り修正します。作意手順は変わりませんので、既に解答された方は再解答の必要はありません。二度にわたる余詰、作者と共にお詫び申し上げます。

-----  
**推理将棋38-2 解答 担当 タラパパ**

▲9六歩、▽1四歩、▲9七角、▽1三角、▲5三角不成、▽5七角不成、▲3五角不成、▽7五角不成、▲5七角、▽4二角、▲5八飛、▽7四歩、▲8四角 まで13手詰

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	將	垂	王	垂	將	科	皇	一
	飛				馬				二
歩	歩		歩		歩	歩	歩		三
	角	歩						歩	四
									五
歩									六
	歩	歩	歩		歩	歩	歩	歩	七
				飛					八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

当初条件の「8手目まで真似将棋で10手目42角」「先手駒取り1枚」「先手歩の手は一度」では、先手の着手で「58玉～76歩～77角～86角～77桂～65桂～53角成」と「78銀～56歩～79角～35角～71角成～72銀～61馬」と、2通りの余詰がありました。作意&余詰双方解はDD++さん、中村雅哉さん、斧間徳子さん、渡辺さんです。作者からはお詫びコメントを頂きましたが、担当者ともども粗検をお詫びいたします。

さて作意のほうですが、推理将棋の作品があまたあっても、これほどダイナミックな手順はありませんでした。

双方の角が右周りに大きく盤上を駆け巡って、着地も気分よく84角までの両王手。大空をキャンパスに、ダイナミックな現代的抽象画を描いているよう。

修正により先手の取った駒が”歩”と明かされましたが、「成る手なし」条件があれば、残り当初条件で大丈夫そうです。

**作者** 「再三の余詰、申し訳ありませんでした。折角採用していただいたのに、担当のタラパパさんにもご迷惑をお掛けしました。すみませんでした。もう一度勉強をして出直してきます。」

■いや、連帯責任です。特に推理将棋は。

DD++ 「こっちが作意解ですかね。角がぐるぐるまわって面白い手順。」

■目が回りそうですね。71角成の筋もご指摘。

**はてるま** 「42角に直感を働かせると・・・、ズバリ当たりでした！それにしても豪快な角の動き。目が回ります。」

■やはり、回っている方がいらっしやいました（笑）だと思いましたよ。

**はらたつと** 「居玉に両王手でした。」

■42角の条件から、両王手は予想し易いかな？と思いましたが・・・。

**リーグ戦ファン** 「解いてみれば、「大空のキャンパスに絵を描いているよう」はすごいヒントですね。手順といい構図といい、プルーフゲームっぽい問題でした。私はといえば、第一感が43桂まで、次が34馬まで単騎詰、だったので、本作と逆で、タンスの中を整理するような手ばかりを考え、両王手に気付くまで一時間でした。」

■なあるほど。42角からは43桂や34馬の単騎詰も、相当有力な詰上がりでしたね。

**香箱** 「9手目と10手目の対比の感触がよい。」

■全く違う手ではなく、一つだけ深く引いたのが、いい対比になっていますよね。

**斧間徳子** 「先手の角の動きが圧巻！！なのですが、惜しいかな、下記の余詰めがありません」

■恐れ入りました <( \_ )> 71角成の筋のご指摘。「成る手なし」追加の修正案も添えて。

**渡辺** 「これが作意と思います。確かに大空のキャンパスに自由奔放に絵を書いています。しかし、」

■渡辺さんからは、53桂成（角成）の余詰を指摘いただきました。これ、相当見えづらい(^\_^;

**中村雅哉** 「雄大な手順で解後感よし。先手の歩の手制約は55で歩交換の筋を防いだのでしょ

うが、「先手が取った駒は3段目で取った歩1枚だけ」くらいで省略できないでしょうか？」

■結果的には、その条件だけではいけませんでした。13手あると怖い。中村さんから71角成の筋の余詰指摘を頂きました。

**NAO** 「角の大転換。端を使わないとマネできません。」

■と思っていたのですが……。

**宮谷保可楽** 「ヒントの意味がわからず、34歩→33角→42角かと思っていたので、苦戦をしいられた。「居玉で詰まされた」が大きなヒントになり、やっとすべてが理解できた。両王手だったんだ…。」

■ヒントが漠然としすぎていたかも？

**鈴木康夫** 「自力で解けなかったのでプログラムを組んで解かせました。タイトル通りまさに大空のキャンパスですね。最終条件では余詰は有りませんでした。最初の条件でも解かせて余詰を見ましたが、DD++さんと渡辺さんは良くこの余詰を見つけたものだと感心しました。」

■検討力に定評のあるお二方から、きっちり指摘いただきました。

**S. Kimura** 「題名に助けられて、角で大きく絵を描けました。」

■推理将棋では題名がヒントになるケースが多いですね。個人的にこうしたタイトルは好みます。

**はなさかしろう** 「タイトル通りのふわんとした手順から豪快なフィニッシュでした。」

■これほど内容にマッチしたタイトルは少ないかもしれません。こういうタイトル、見習いたい。

**竹野龍騎** 「雄大だが、詰み形が見えたのであっさり解けた。」

■両王手と決め打てれば、手数は長くてもあっさり解ける問題でした。

**隅の老人B** 「角の動きが目まぐるしい。こんな手順をよくぞ考えたり、かな。」

■5筋での両王手物はけっこう作品があるのですが、この大きな手順は私にとって目から鱗でした。

**ミニベロ** 「居玉を5筋の飛車角からの両王手で止める順は作図例も多いが、この条件で決まれば収穫でしょう。タイトルは大ヒント！」

■誰もが一度は手がける5筋両王手ですが、その中にあっても鮮度はバッチリ。

**占魚亭** 「これは簡単でした。角の動きがダイナミックで、両王手のフィニッシュがばっちり決まりましたね。」

■占魚亭さんもあっさり両王手に気付いた派？

**はやし** 「虫が良すぎる手順。確かに余詰がありそう。」

■う〜ん。

**たくぼん** 「盤面にトンビがぐるりと絵を描いた〜ホ〜イ〜ノホイ 壮大な手順」

■いやあ、長閑ですなあ〜

-----  
正解：20名

S. Kimuraさん 斧間徳子さん 香箱さん  
鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 占魚亭さん  
たくぼんさん 竹野龍騎さん 躑躅さん  
DD++さん NAOさん 中村雅哉さん  
はてるまさん はなさかしろうさん  
はやしさん はらたっとさん ミニベロさん  
宮谷保可楽さん リーグ戦ファンさん  
渡辺さん

-----

### 38-3 上級 DD++さん作

不成5回で12まで

11手

「隣の将棋、たった11手で詰んだのに5回も不成があったとは珍しいね」

「珍しいといえば、この短手数でトドメが12つというのも妙な場所だよ」

(条件)

- ・ 11手で詰んだ
- ・ 不成が5回
- ・ トドメは12の手

#### 推理将棋38-3 解答 担当 タラパパ

▲7六歩、▽3四歩、▲2二角不成、▽4二玉、▲1三角不成、▽3二玉、▲3一角不成、▽4二飛、▲同角不成、▽1七香不成、▲1二飛 まで11手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	
二					角	王		飛		
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩		
四							歩			
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	香	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 角銀歩

出題時に難問と謳った作品。その理由は、条件がとうてい達成できそうにないことによる難しさ。条件で目立つのは不成の回数。11手で詰む条件で、不成回数の最大値は恐らく7回。そして先手が指しうる不成の最大値は恐らく4回が限度です。出題条件が不成5回ですから、少なくとも1回は後手の不成。止めの条件に目を向けると、12の手とあります。ならば余程特殊な詰み形でない限り後手玉に22まで出てきて欲しい。それには最低3手かかる。加えて後手が不成まで指すとなると、もはやお手上げ?ちなみに、ここまでは私の第一印象です(笑)

悲観的な条件が揃っていますが、ここで別の角度から考えてみます。先手が不成を稼ぐには88角を精一杯動かすしかありません。しかし、角をすべて不成で動いたとき、角は12に利きを持ってません。さりとて先手13歩の利きのに12飛と打つなどの平凡な詰上がりでは、今度は不成が稼げない。思い切って自駒の利きに12〇と指すことをきっぱり諦めます。離し打ちを目指すのです。そんなことができるなら、32玉に12飛しかありえない。その利点は玉にける手数が2手で済むこと。例えば11角不成と香を取って、32玉を12飛の離し打ちで詰ませるような形ですね。ただこの形は、31銀がネックになるのですが……。

そこで更に発想を飛躍させ、推理将棋独特の合利かずのスーパー詰上がりを目指します。角を11に置く代わりに42に置くのです。玉を32へ送る必要がありますから、2手目に42玉として「76歩、42玉、33角不成、32玉、22角不成、14歩、31角不成、42飛、同角不成、13香、12飛」まで。素敵な順ですが惜しいかな、もう一度の不成が稼げません。しかし作意はこの先にあります。逃げて貰わなければ困る邪魔な11香。後手の代わりに先手が13歩を排除して、香の自由を確保し不成で走らせるのです。先手に13角不成の一手を稼がせるため、2手目に34歩と突くのが平凡ながら後手の好アシスト。

**DD++** 「上級の1つ上用(第35回総評参照)に、と投稿したのに、まさか普通に上級で採用されるとは思いませんでした。結局上級を時々本気で難しくする方向になったのでしょうか。さて、問題はこれを何人が解けるかですが……。上級のせいで解答者減とかありませんように。」

■いえいえ、本気で難しくしようなどと(笑)しかし、本コーナー屈指の難問と、担当者も作者も解答者減を心配した本局、いざ蓋を開けてみれば意外な反応が。

**躑躅** 「条件を見てこの合利かずの形を最初に想定したので一瞬で解けました。」

■その直感に素直に脱帽です。

**はらたつと** 「すみません。最終手12飛打つで



きめうちしました。不成は先手4回後手1回で角を動かしていたら17香生に気が付きました。」

■はらたっとさんもまた、鋭すぎでしょう。

**リーグ戦ファン** 「42で角が飛を取って12飛までの詰み上がり、が第一感だったので、不成4回には秒殺で到達。これじゃ足りないのか、あと一回の不成は後手だろう、この順に無駄なく絡ませるとしたら1筋の香、と考えたら、すぐに解がありました。「屈指の難局」の評価は甚だ疑問です。今回、この問題が一番時間がかかってません…。」

■あらら、「屈指の難局」があっさり否定されてしまった（^^；

**香箱** 「12飛打or生までは想定しやすい。2手目が見えれば。」

■こ、これが想定し易いですと？！

**斧間徳子** 「後手からの不成は88（99）角不成か、（32飛→）37飛不成かと思っていたら、香不成でした。2手目は、不成の回数を稼ぎ、かつ、玉を1筋に早く寄せたいので、42玉としたところなので、34歩は意外に盲点でした。本作は解後感もよく、簡潔な条件でまとめあげられており、完成品と思います。」

■手順・条件ともに完璧といえますね。

**渡辺** 「最終手12からかずひでさんのツイン作の左右逆の詰み形を追うのは当てていましたが、最初は後手が13の方の歩を突いていたので生が足りなくて失敗。13を角で取ることを思いついて出来ました。」

■かずひで作は92飛と打つ11手作品ですが、指摘されるまで気づきませんでした。自分でも解いた作品なのに（汗）

**中村雅哉** 「これは難問。詰み形が浮ばないと手の付けようが難しい。とはいえシンプルな条件なのでいつでも考えられるのが良いですね。解けたのは歯医者での治療中でした（笑）。少ない条件でうまく手順限定できていて、詰上がりも緊張感のある好作。」

■私も今年は歯医者通いました。嫌で嫌で……って、違うでしょう（汗）

**NAO** 「難問でした。気持ちのいい詰み形。形は見えてもうまく捌かないと手数オーバーしてしまう。」

■形が見えるかどうか、それが第一の関門。次の関門が後手34歩でしょうか。

**宮谷保可楽** 「詰み形のイメージはできていたのだが、なかなかたどり着けず。追加ヒントを見た瞬間に、一気にゴールまで行ってしまった。12への利きを消す17香生は、目的こそ違えど前回の95香に似た感じ。」

■詰み形のイメージ、どうして皆さん、こうもきっちり出来るんでしょう？（汗）担当は捻り鉢巻した問題なのに。

**鈴木康夫** 「これも自力で解けなかったのがプログラムを組んで解かせました。余詰無しです。誰でも12飛までを連想するので粘れば解けたかもしれませんね。」

■鈴木さんには、この手があるからいいなあ〜（笑）完全作のお墨付きができました。

**S. Kimura** 「ヒントが出る前から、後手が1七香不成とすることと、先手が1二飛で詰ますことの可能性を考えていましたが、飛車をうまく取る手段が分からず、随分と悩んでいました。邪魔だった3一銀も消えて、この詰め上がりは素晴らしいの一言ですね。」

■こういう作品に出会うと、解けた時の爽快感が何ともいえません。

**隅の老人B** 「手順も妙だが、問題文も妙。不成り5回で香の動きが限定、上手いな。」

■ただ条件を稼ぐための香不成ではなく、12を空ける目的を併せ持つ手ですから解後感も爽快です。

**はやし** 「最終ヒントで解けた。ラッキー。」

■いやあ、最終ヒント出しておいてよかった。

**はなさかしろう** 「第一感の詰め上がりだったのであっさり解ければこの上なかったのですが、2手目42玉と思い込んでしまいました。後手が複数回の不成を指す可能性を考えはじめ、どんどん深みにはまってしまふところをヒントに救われました。かえりみて、この条件だけで限定できているのはなんとも美しいです。」

■皆さん、口を揃えてこの詰上がりが第一感とおっしゃる。本問、ほんとうに超難問だったのか？

**ミニベロ** 「まだこんなきれいな順が残っていたのか！古典の香りがする名作です。12の謎さえ解ければ、すべてが一瞬に氷解します。」

■渡辺さんが触れられたかずひでさん作に、古典の座は譲るかもしれませんが、こちらもまた佳局でした。

**占魚亭** 「難しい……ギブアップです。」

■難しいですよ。うん、絶対に難しいに違いない！(^\_^;

**たくぼん** 「これだけヒントをもらっても苦労するのだから超難解です。13角～31角が逆モーションで盲点になりました。」

■ようやくにして超難解の言葉が(^\_^;

**はてるま** 「最後の2手に推理将棋の醍醐味がぎゅーと詰まっている。名作でしょう。」

■こんな手順、推理将棋以外にはありえません。

-----  
正解：18名

S. Kimuraさん 斧間徳子さん 香箱さん  
鈴木康夫さん 隅の老人Bさん たくぼんさん  
躑躅さん DD++さん NAOさん  
中村雅哉さん はてるまさん  
はなさかしろうさん はやしさん  
はらたつとさん ミニベロさん

宮谷保可楽さん リーグ戦ファンさん  
渡辺さん

-----  
**総評**

**はらたつと** 「今回は珍しく秒殺の連続でした。」

■難問揃いなんですけど……。秒殺しないでもらえます？

**リーグ戦ファン** 「今回は、読後感のすっきりした佳作揃いでした。「芸術点が高い」感じます。金銀が全く使われていないことからその印象があるのかな。3作を通して、後手の13歩がしっかり働いていますね。」

■取られて働く手も含めると、たしかにおっしゃる通り。あまり活躍しない駒なのに(笑)

**渡辺** 「今回は論理より直観で先に手順が見えました。38-3の論理が自分の中ではまだ詰まっています。余詰連絡もありますので早めに解答を送ります。」

■皆さんの評を拝見すると、殆どの方が直感。論理的な構築は難しいのかも。

**中村雅哉** 「夏休み氏作もDD++氏作も、詰み形が見えないと手の付けようがない。初級者には厳しい選題でした。」

■しかしながら、「難解ではない」との声が意外なほど多くて、戸惑っています。

**宮谷保可楽** 「前回の誤指摘、大変失礼いたしました。77歩は盤に並べていないからこそ起こった、完全な見落としでした。ただ私の疑問は、あの手順中、「73飛成は、飛成の王手なのか？」ということに尽きました。結果稿を見る限りでは、然りと判断したのですが、それでいいのでしょうか？」

■33玉に対して、77の飛車を73飛成とする手が「飛車による王手なのか、角による王手なのか」は解決途上の命題といえますが、条件が単に「飛成の王手」であれば、73飛成=条件合致

に疑問の余地はないと考えています。

**隅の老人B** 「秋深し 隣はなにを する人ぞ?、ハイ、推理将棋を考えています。」

■ハイ、推理将棋の結果稿を書いてま〜す。

**ミニベロ** 「全体的に難度も作品の水準も高めだが、今回こそ、難易度の評価がバラバラだと思う。」

■担当には”まさか”でしたが、そのとおりの結果でした。

**推理将棋第38回出題全解答者： 20名**

S. Kimuraさん 斧間徳子さん 香箱さん  
 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 占魚亭さん  
 たくぼんさん 竹野龍騎さん 躑躅さん  
 DD++さん NAOさん 中村雅哉さん  
 はてるまさん はなさかしろうさん  
 はやしさん はらたっとさん ミニベロさん  
 宮谷保可楽さん リーグ戦ファンさん  
 渡辺さん

当選： 中村雅哉さん

おめでとうございます。

## 第9回 詰四会フェアリー作品展 3番 解答発表

**課題：桂が頑張っている作品**

今回の課題は、「桂が頑張っている作品」でした、再出題の3番の解答者は3名でした。頑張って解いて頂きありがとうございました。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★  
 再出題  
 ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

**第3番 神無七郎作**

キルケ協力白玉詰 90手

											9	8	7	6	5	4	3	2	1		
																					一
										歩											二
									と	歩											三
									歩												四
																					五
								香	王	歩											六
									料												七
								香													八
								香	王												九

持駒 桂2

- 28 桂 25 玉 17 桂 24 玉 36 桂 13 玉
- 25 桂 14 玉 13 桂成 15 玉 14 圭 16 玉
- 15 圭 17 玉 16 圭 27 玉 17 圭 36 玉 /29 桂
- 27 圭 25 玉 37 桂 /21 桂 35 玉 36 圭 24 玉
- 35 圭 13 玉 25 桂 14 玉 13 桂成 15 玉
- 25 圭 16 玉 15 圭 17 玉 16 圭 27 玉
- 17 圭 36 玉 27 圭 25 玉 16 圭 24 玉
- 14 圭 35 玉 25 圭 36 玉 35 圭 37 玉
- 36 圭 27 玉 37 圭 16 玉
- 27 圭 同歩成 /29 桂 15 圭 26 玉
- 16 圭 35 玉 26 圭 24 玉 35 圭 14 玉
- 24 圭 15 玉 14 圭 25 玉 37 桂 同と /29 桂
- 17 桂 16 玉 15 圭 26 玉 16 圭 35 玉
- 26 圭 24 玉 35 圭 13 玉 25 桂 14 玉
- 13 桂成 15 玉 25 圭 16 玉 26 圭 17 玉
- 27 圭 18 玉 28 圭 同と /29 桂 まで 90 手

## 詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								飛	一
								歩	二
						と	歩	圭	三
						歩			四
									五
					香				六
									七
					香		入	王	八
					香	王	桂		九

持駒 なし

## 作者

小駒2枚が交互に復活して、受方の駒を何度も操作する手順。成駒ができると非限定を生じ易いので、なかなか上手く行かなかったのですが、桂を主体にすることできれいに纏まりました。今回の課題のおかげですね。

- ★ 9月出題時に解答者0だった為、急遽再出題という処置を取らせていただきました。私は最初に解答を見たので難易度がよく分かっていますが3名の方の感想を読む限り超難解ということではなかったようです。
- ★ 手順の方は、29～37.17～25～13の箇所です。巧みに桂を跳ばして成桂を作り、盤面を変換していきます。まず桂2枚で玉を下に追い成桂を作ります。そして右回りで36桂消去（序で16へ跳ぶと行き詰まります）続いて後手の37桂を21に跳ばして通路を確保します。再び下に追い成桂をもう一つ作りますが、その後15玉に対して25成桂とするのが序のポイント。流れから14成桂としたくなると思います。続いて右回り→14成桂→左回り→27と型。その後の37桂、同と/29桂、17桂の手順が気持ちよい順で収束への道が開けます。手数が多いので解くには結構根気が必要だと思いますが、手は限られているようですので解答者は楽しめたのではないでしょう。

## 北村太路

解いてみたんですが、最近感受性が鈍くてあまり何も感じませんでした。最初は仕組みがわからず、壁を突破しようとしたりしましたが、仕組みがわかったら難しさはなかったです。しかしながら、これが完全になるのは不思議。詰将棋のルールが生み出す不思議さといひましようか。あまり作品にピンとこなかったのは、3七桂が単なる邪魔な駒だったのと、最後に成桂がポツンと敵陣に置き去りになるからかも。しかし、これを誰も解いてないというのはおかしい。俺でさえこんな短期間で普通にわかるのに。最近皆さん、解図に精を出していないんでしょうか？

あまり褒めてなかったんですが、最後道が必要なため一度3七にとを動かすとか、二枚の成桂をうまく使うために逆回転していい位置持ってくるとか、それが、うまいこと手順が限定できているとか、綺麗にまとまっているのは確かです。七郎さんはすごい難しい手を入れてきたりすることがあるし、1回解答者0だったので、すごい身構えすぎたのに普通だったのでちょっと拍子抜けしてるのかもしれない。

- ★ お久しぶりです・・・北村さん。解答創作でまた紙面を賑わせてくださいませ。

## 癩癩老人

二度目の桂成からのまわりくどくていかにもパズルチックな手順が気に入っています。再三にわたり復活して大活躍した29桂も最後は邪魔者扱いされて死地に追いやられる。少し物悲しさを感じさせられます。

## 隅の老人B

2枚の桂（成桂）で追い回して、と金を作る。90手の長道中、草臥れました。でも、解けたら気分は最高、七郎さん、有り難う。

お二人の老人の方も楽しまれたようで何よりです。それにしても限定するのは難しそうなこの手順を見事に表現された作者には脱帽です。

Fairy Top IX 2010 もたくさん受賞されそうですね。

# 妖精賞の系譜 (16)

## 第 20 回 妖精賞 (2007年)

この期も、担当者の片岩氏の選考によって妖精賞が決定しました。なお発表号(2008年7月号)には第19回妖精賞決定!!と表題がありますが、前年が19回でしたので20回の間違いと思われれます。これ以降1回ずつズレたままになっていますので訂正が必要かと・・・

中編部門は該当なし。

### 【短編部門】

詰将棋パラダイス 2007年3月号  
佐々木寛次郎 作 安南ばか詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
			飛		飛				三
				王					四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

44飛生 55玉 53飛成 54桂 64龍 迄 5手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
			龍	科	飛				三
				王					四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

### 片岩裕貴 (妖精賞発表時コメント)

短編部門の佐々木作は安南ばか詰の基本手筋ながら、初形手順ともシンプルにまとまっていて、美しさを感じさせる作品です。

### 解説 (片岩裕貴)

飛一色図式で解図欲をそその初形です。安南らしく玉を弱い駒の上に乗せるのですが、歩の上に乗せるのではなく、桂の上に乗せるのがポイントです。

簡素な形とスパイスの効いた手順で、好作と思います。

### 洞江元太

54歩合ばかり考えてしまい、なかなか詰ますることができなかった。

### 原岡望

初形と詰上りの対称形見事。

### 駒井信久

易しいが名作。

★ 簡素な形ながら桂合からの詰上りも対称形で文句なし。安南ばか詰一筋に創作に取り組む作者の姿勢も素晴らしいと思います。

### 【長編部門】

詰将棋パラダイス 2007年12月号  
北村太路 作 PWC ばか千日手 498手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
								銀	四
							桂	飛	五
金	桂	龍							六
王	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス		七
ス	歩	香	香	香	香	歩	王	ス	八
王	ス	王	ス	ス	ス	ス	ス	ス	九

持駒 なし



79 飛 /69 と 同金 /89 飛 77 龍 /76 と 89 玉 /78 飛 79 飛 /78 金 同と /69 飛 78 龍 /77 金 同と右 /87 龍 79 飛 /69 と 同と上 /78 飛 98 龍 /87 と 78 玉 /89 飛 87 龍 /98 と 同と /76 龍 79 飛 /89 と 88 玉 /78 歩 89 飛 /79 と 同と右寄 /99 飛 98 飛 /99 と 同金 /97 飛 87 飛 /97 と 78 玉 /88 歩 77 飛 /87 金 68 玉 /78 香 67 飛 /77 と 58 玉 /68 香 57 飛 /67 と 48 玉 /58 香 47 飛 /57 と 38 玉 /48 香 37 飛 /47 金 28 玉 /38 歩 27 飛 /37 と 同と上 /16 飛 18 飛 /16 と 同と引 /19 飛 29 飛 /19 と 38 玉 /28 歩 39 飛 /29 と 48 玉 /38 香 49 飛 /39 と 58 玉 /48 香 59 飛 /49 と 68 玉 /58 香 69 飛 /59 と 78 玉 /68 香 79 飛 /69 と 88 玉 /78 歩 89 飛 /79 と 同と右 /99 飛 98 飛 /99 金 同と /97 飛 87 飛 /97 金 78 玉 /88 歩 77 飛 /87 と 68 玉 /78 香 67 飛 /77 と 58 玉 /68 香 57 飛 /67 と 48 玉 /58 香 47 飛 /57 金 38 玉 /48 香 37 飛 /47 と 28 玉 /38 歩 27 飛 /37 と 同と上 /16 飛 18 飛 /16 と 同と引 /19 飛 29 飛 /19 と 38 玉 /28 歩 39 飛 /29 と 48 玉 /38 香 49 飛 /39 と 58 玉 /48 香 59 飛 /49 と 68 玉 /58 香 69 飛 /59 と 78 玉 /68 香 79 飛 /69 と 同金 /99 飛 98 飛 /99 と 同金 /97 飛 87 飛 /97 と 78 玉 /88 歩 77 飛 /87 と 68 玉 /78 香 67 飛 /77 と 58 玉 /68 香 57 飛 /67 金 48 玉 /58 香 47 飛 /57 と 38 玉 /48 香 37 飛 /47 と 28 玉 /38 歩 27 飛 /37 と 同と上 /16 飛 18 飛 /16 と 同と引 /19 飛 29 飛 /19 と 38 玉 /28 歩 39 飛 /29 と 48 玉 /38 香 49 飛 /39 と 58 玉 /48 香 59 飛 /49 と 68 玉 /58 香 69 飛 /59 と 78 玉 /68 香 79 飛 /69 と 同金 /89 飛 67 龍 /76 金 89 玉 /78 飛 79 飛 /78 金 同と /69 飛 78 龍 /67 金 同と右 /87 龍 79 飛 /69 と 同と上 /78 飛 98 龍 /87 金 78 玉 /89 飛 87 龍 /98 金 同金 /76 龍 67 龍 /76 金 89 玉 /78 飛 79 飛 /78 と 同と寄 /69 飛 78 龍 /67 と 同金 /87 龍 79 飛 /69 と 同金 /78 飛 98 龍 /87 金 78 玉 /89 飛 87 龍 /98 金 同金 /76 龍 79 飛 /89 金 88 玉 /78 歩 89 飛 /79 金 同と /99 飛 98 飛 /99 金 同と /97 飛 87 飛 /97 金 78 玉 /88 歩 77 飛 /87 と 68 玉 /78 香 67 飛 /77 と 58 玉 /68 香 57 飛 /67 と 48 玉 /58 香 47 飛 /57 と 38 玉 /48 香 37 飛 /47 と 28 玉 /38 歩 27 飛 /37 と 同と上 /16 飛 まで 498 手

#### 片岩裕貴（妖精賞発表時コメント）

長編部門の北村作は趣向+破調という現代的な構成に更に一ひねりを加えた作品で傑作だと

思いました。

#### 作者

「主テーマは『趣向性+変調』」

#### 解説（神無七郎）

作者は単純な長手数ではなく、パズル性・趣向性・長手数の共存にこだわりました。2つの破調の発見ですべてが解決したかに思えた後、本当の解決に辿り着くための大きな発想の転換を迫られる構成は劇的で、詰将棋の奥深さを改めて感じさせてくれます。

#### 駒井信久

7, 9段目の駒を入れ替える機構を見つけるのが難しかったが、あとは面白いパズルとして楽しめた。

#### 市村道生

500手から2手短縮に四苦八苦。龍のルーチンが完璧な形で組み込まれた傑作です。

#### 須川卓二

79の地点に金があれば、2種類（79→67、79→77）の金の位置交換手順がある。79金が1周して67の地点に来たときに残り2つの金の位置を79.98にしないといけない。2種類の位置交換をいかに上手く組合すかと言った数学の問題のような作品でした。金の位置チャートを書いて解きましたが、今までにあまり見たことのないような作品ですね。平成19年のトリを飾るに相応しい傑作と思います。

★ 下手な解説は見苦しいので、手順解説はこちらでご覧下さい（↓）

ofmのページより

[http://www.abz.jp/~k7ro/overflow/hr27\\_r.pdf](http://www.abz.jp/~k7ro/overflow/hr27_r.pdf)

★ 32手1回転の趣向手順に何ヶ所もの破調を組み込んだ傑作。とくに最後の2回連続の破調は解答者を唸らせました。私も当時の興奮を今一度思い出させて頂きました。当時の正解者は5名。私はとにかくこれは解答者がよく頑張ったと思いました。

## 解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

12月11日(土)

Onsite Fairy Mate 165回出題

\* 対面協力自玉スタイルメイト 1題

12月15日(水)

持駒最多のばか詰

\* 協力詰 7題

12月15日(水)

第28回WFPフェアリー作品展

## 作品募集締切一覧

2011年1月15日(土)

Fairy of the Forest #26

課題：「突き歩詰」の協力詰

\* 詳細は本文(P.18)をご覧ください

2011年1月15日(土)

フェアリー詰将棋の年賀詰

送り先：たくぼん takuji@dokidoki.ne.jp

\*\*\*\*\*

## あとがき

今月も紅月さんが多忙な為、発行が遅れて申し訳ありませんでした。紅月さんももう担当3年目に入りました。将来的には後任の担当者も考えておかないといけません。すぐというわけではありませんが、やってもいいよという方がいらっしゃいましたら私までメールをお願いします。

話は変わりますが、今年もあと1ヶ月ちよつとです。年賀詰の創作時期でもあります。例年ぎりぎりにならないと創ろうとしないのは性格ですかね。結局時間に追われてそれなりの作品しかできないんです。今年は少し早めに取りかかろうと思っはいるんですがどうなる事やら・・・。フェアリー作品の年賀詰は例年数が少なですからこれを読んでいるフェアリストの皆さん、いやそうでない方も是非、フェアリー詰将棋で年賀詰創作をしてみたいかがでしょうか？1月号では紹介のコーナーも考えていますので是非私までメールにてお送りいただければと思います。よろしくお願ひします。

送り先：takuji@dokidoki.ne.jp

たくぼん

2010年 第29号

**Web Fairy Paradise**

非売品

平成二十二年十一月号

平成二十二年十一月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp